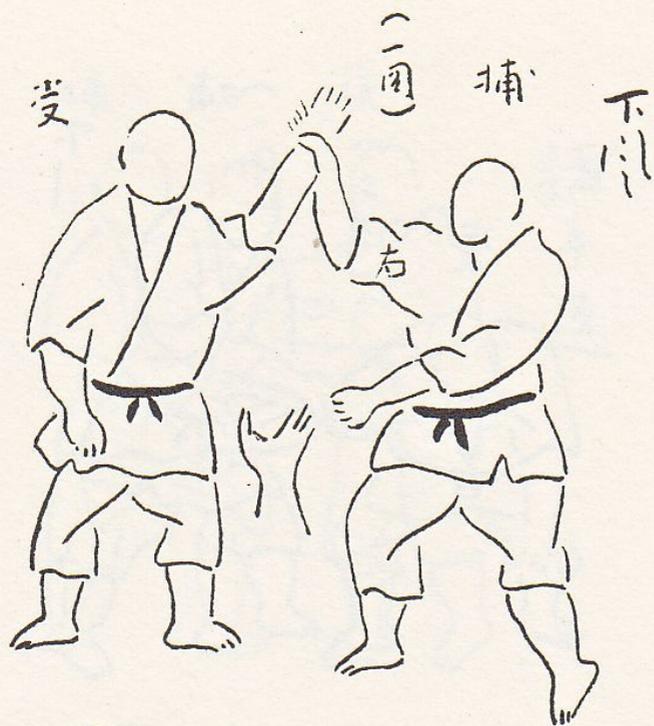


日本傳天心古流拳法相傳錄

上段之位

一 下風オロシ 左 右



(受)ハ右手ニテ捕方ノ右手首ヲ握ル(捕)ハ握
ラレシ右肘ヲ二肘へ出シ乍ラ右外側ヨリ矢筈
ニ取り返シ我カテ拳ニテ受方ノ左脇
腹へ(一團)ノ如リ当身ヲナシ

●古式ニテハ右手ニテ下ヨリ本逆ニ取り露路ニ
極メ更ニ左肘ニテ上ヨリ巻込キ肘ニテ押座スル

捕

下川



(三)

受

捕

小手取

(二)

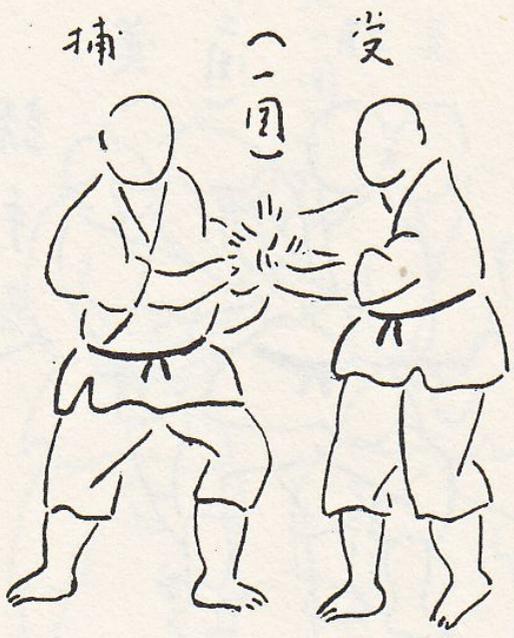
受



次ニ受方ノ右手ヲ我ガ右膝ノ方ヘ挿ケ来リ右手ヲ
 受方ノ右握手ノ肘ヘ逆ニ(三)ノ如ク掛ケ右方
 へ引キ右足底ニテ受方ノ右脇腹ヘ蹴当ニテ
 ナス

(二) 小手取 右左

(受)ハ右手ニテ捕方ノ右手首ヲ握ル(捕)ハ右手
 ヲ受方ノ握手ノ甲ヘ拇指ヲ掛ケ左右八五時ニ上へ上
 ケ我ガ右側へ挿来リ右足ヲ少シク後方へ退キ右
 手掌手ヲ受方ノ右肘ヘ(二)ノ如ク掛ケ



諸手返



(受)ハ左右ノ手ニテ捕方ノ右手首ヲ頰ニ握ル(右
 手ノ上ノ左手下)(捕)ハ握ラレシ右手先ヲ左胸部ヘ掛
 来リ肘ヲ受方ノ正面ヘ出シハエ時ニ其ノ手ヲ
 上ヘ返シ左手ニテ受方ノ右肘袖ヲ下ヨリ
 (二回)ノ如ク取リテ押シ上ケ

(三) 諸手返 九右

次ニ下ヘ押シ付ケ左膝ヲ受方ノ右肘ヘ掛
 ケ右手ハ上ヘ(三回)ノ如ク引上ケテ
 極ム



松川



諸手返

(受)ハ右拳ニテ捕方ノ頭上ヘ打込ム(捕)ハ左足ヲ受
 方ノ右足前ヘ踏込ニ右手ニテ打込キヲ受ケ留
 メテ握リ左手ヲ肘ヘ掛ケ右足ニテ(二)回
 ノ如ク受方ノ墨丸ヲ蹴リ当テ

(四)
 松風

(三)回ノ如ク左腰ヲ入レテ腰車ニ投
 ゲ落シシ足当ヲナス
 別段 足ヲ大外ノ如クカけて背後ニ突きとはす。受



附身

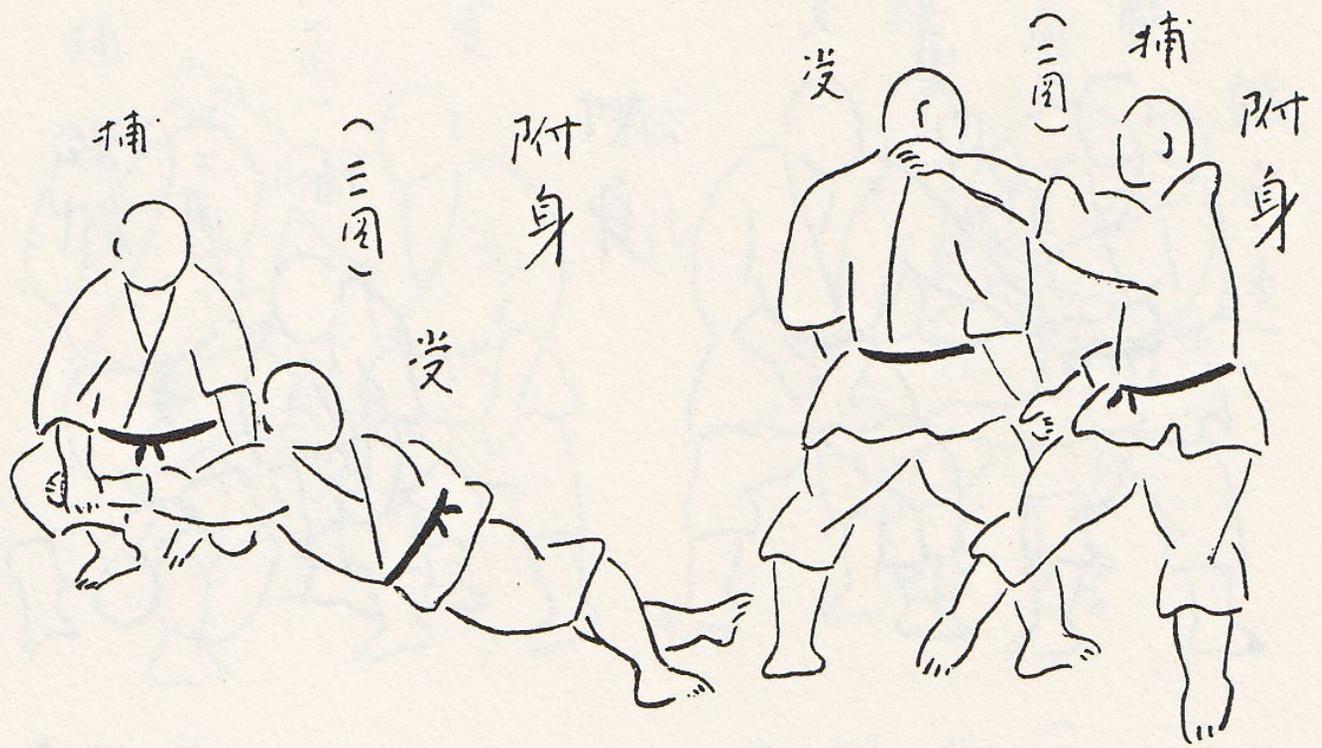


(受)ハ右拳ニテ捕方ノ水月へ突込ム(捕)ハ右足ヲ左足
 後へ退キテ之ヲ避ケ右手ニテ突込拳ヲ上ヨ
 リ取り右後へ強ク引キ左臑拳ニテ受方
 ノ顔面へ(一)図)ノ如ク便当テヲ下シ

(五)

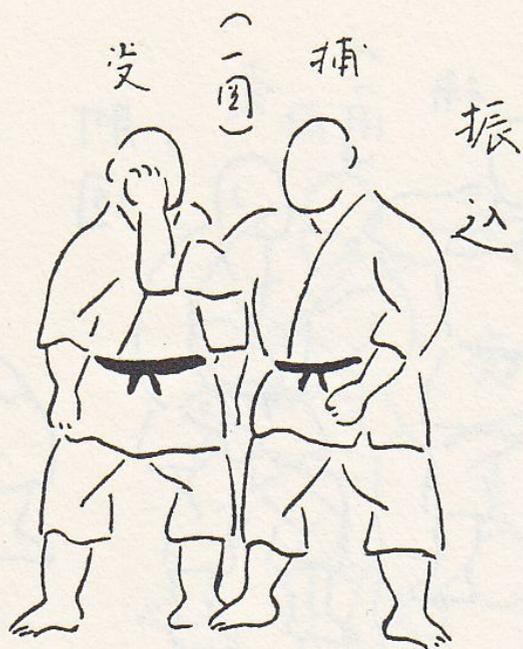
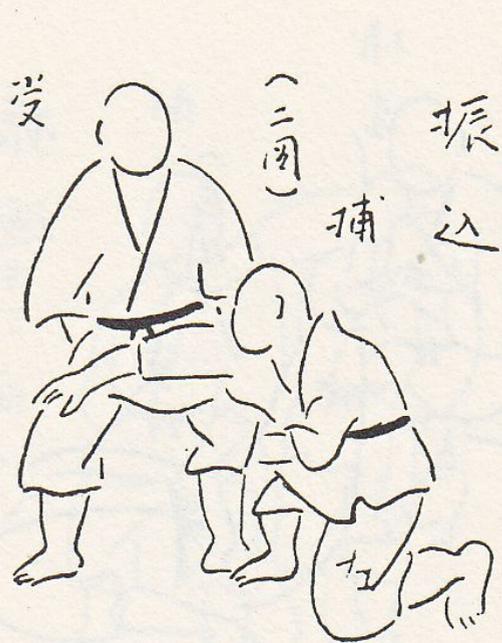
附身

蹴リタル足ヲ其場へ下シ全時ニ左足踵ニテ受
 方ノ右足内踵ヲ蹴リ其膝ヲ地ニツキ右手ハ右脇へ捻リ
 左掌底ニテ受方ノ右肘へ(二)図)ノ如ク掛ケテ強ク
 下へ押シ付ケ右手ハ臑上へ引上げテ極ム



直午ニ左手ニテ後襟ヲ取リテ下ヘ引キ
 右ノニテ没方ノ右膝直衣ヲ(三圖)ノ如ク
 拂ヒテ倒シ

次ニ体ヲ右ニ開イテ没方ノ右肘関節
 ヲ亦カ左股ノ上ニ乗セテ(三圖)ノ
 如ク極ム左手ハ下ヘ押シ付ケル
 此位ヲ膝ノ下ニテ右に極ム
 右ノ手ト地面ノ間に一五ノ力ヲ用ヒテ
 右ノ手を握ス



(六) 振込 (掛手)

(捕)ハ右足ヲ踏出シ右拳ニテ受方ノ水月へ突掛ル(受)
 ハ右足ヲ左足後へ退キテ避ケル(捕)ハ突込拳
 ノ裏拳ニテ受方ノ顔面へ(一回)ノ如ク当
 身シ

更ニ左膝ヲ地ニツキ左腕関節ヲ受方ノ
 左足膝裏へ掛ケ右腕ニテ腹部ヲ押
 シテ(二回)ノ如ク倒シ



(受)ハ右手ニテ捕方ノ左上袖ヲ取ル(捕)ハ直分
 ニ右手ニテ受方ノ右取手ノ甲ノ上ヨリ逆
 ニ握リ左肘ヲ曲ル右口之ヲ(一回)ノ
 如ク退キ

(七) 肘固 左右

右手ヲ我が左手ニ添ヘテ(三回)ノ
 如ク足挫ニ極ム

肘固

(三回)

受

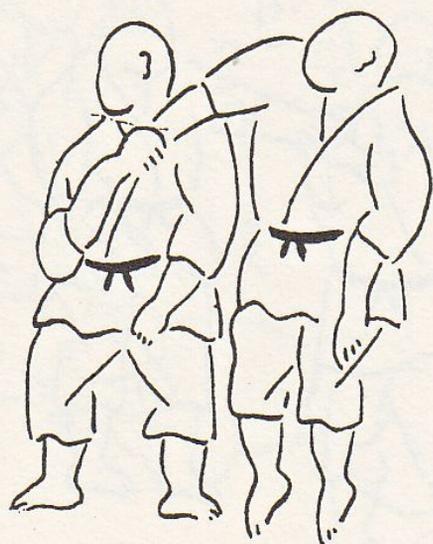
捕



五月雨

受

捕



利は二回

体ヲ右ニ開キ左肘ニテ受方ノ右肘ヲ下へ押シ
付ケ左ノ足ノ横ニテ受方ノ右膝ノ節
ヲ踏ミ折ル

カミ
タシ

(一) 五月雨 左右

(受)ハ右手ニテ捕方ノ胸襟ヲ取ル(捕)ハ右手ニテ受方
ノ右手首ヲ下ヨリ握リ(拇指上四指ハ下)左肩ヲ下ケテ
受方ノ握手ノ下ヨリ腰ヲ下ケテ入レ次テ左肩ヲ
上ケテ受方ノ握手ヲ極メ左肘ニテ右脇
腹へ当身ヲナス

落花



落花



(九) 落花 左右

(受) 前技ノ如ク右手ニテ捕方ノ胸襟ヲ取ル
(捕) 右手ニテ受方ノ取手甲ノ上ヨリ逆ニ握
リ左手ヲ下ヨリ受方ノ右手首ヲ(二图)ノ
如ク握リ

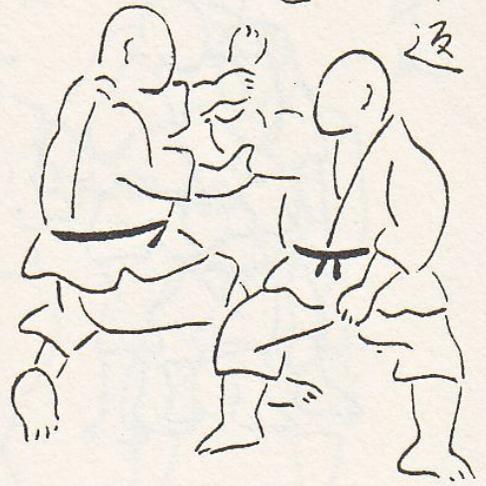
次ニ右足ヲ後ニ退キ体ヲ右ニ戻キ左肘ニテ受方
ノ右肘ヲ押し上ケ左肩ヲ下ケテ左肘ニ
テ受方ノ右肘ヲ下ヘ(三图)ノ如ク押し
付ケ右手ハ其ノ右手首ヲ逆ニ折リ
曲ケ握ム

屏風返

受

(二回)

捕



屏風返

(三回)

受

捕



(十)

屏風返

(受)ハ右拳ニテ捕方ノ頭上ヘ打込ム(捕)ハ右足ヲ受方ノ左足
 前ヘ踏出シ之ヲ避ケ左手ニテ打込ム手首ヲ逆ニ受
 込メテ握リ右拳ニテ水月ヘ当身ニ直キニ其ノ手
 ニテ受方ノ打込手ノ肘袖ヲ下ヨリ(二回)ノ如ク
 握リテ手前ヘ引キ

次ニ左膝ヲ地ニツキテ引倒シ一回転サセテ
 (三回)ノ如ク其ノ手首ヲ極ム

⑩

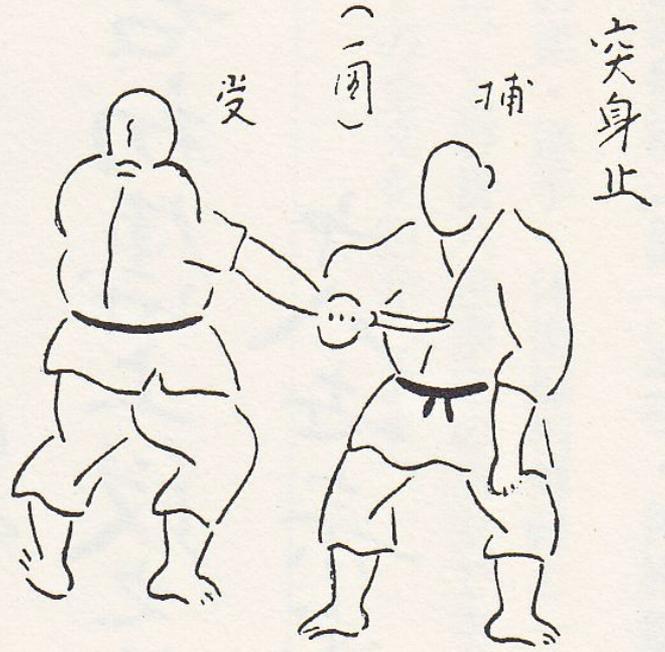
谷落



(二) 谷落

(受)ハ右拳ニテ捕方ノ頭上ヘ打込ム(捕)ハ左拳ニテ受
 込メテ握リ右足ヲ受方ノ右足後ヘ踏込ミ乍
 ラ袷カ右肘ニテ受方ノ右脇腹ヘ(一因)ノ如ク引
 身シ

次テ受方ヲ袷カ背後ニシ右拳ニテ受方ノ後襟
 ヲ逆ニ取り袷カ左拳ハ(二因)ノ如ク下ヘ引キテ受
 方ノ右肘関節ヲ極メ次テ左膝ヲ地ニツクト
 同時ニ袷カ奥前ヘ背負技カニ引落シ
 当身ヲナス



十三 突身止

(受)ハ右足ヲ一步出シ短刀ニテ捕方ノ水月へ突込ム(捕)ハ左
 足ヲ一步右足後へ退キテ之ヲ避ケ右手ニテ
 受方ノ突込ム手ヲ上ヨリ(一図)ノ如ク握
 リ

次ニ右足ヲ少シク前へ出シ乍ラ右
 手ヲ上ケ左手モ添へ公ニ時ニ左足
 ニテ右脇腹へ(二図)ノ如ク蹴リ
 上ケ

突身止

(三回)

捕

受



右初傳上段之位拾二手相傳候夏

八世宗家 上 望 貴

蹴リタル足ヲ其場へ下スト合時ニ受方ノ右腕ヲ我カテ

腋ノ下へ挟ミ(三回)ノ如ク極メ更ニ左膝ヲ地ニツキ

極ム

兩手ハ上ニ引キ上ケル事

